



# 遣伯使見聞録



## Vamos festejar (パーティーしましょう)

いよいよ10月19日、20日は豊橋まつりですね。

江戸時代末期の慶応3年8月から12月にかけて、近畿、四国、東海地方などで発生した騒動。「天から御札が降ってくる、これは慶事の前触れだ。」という話が広まるとともに、民衆が仮装するなどして囃子(はやし)言葉の「ええじゃないか」等を連呼しながら集団で町々を巡って熱狂的に踊った。『Wikipedia』より



こちらでは、リオのカーニバルほどではないですが、毎週金曜日の夜は飲んで踊って大騒ぎです。豊橋まつりが盛大に行われることを願っております。

### ⑦ 10月11日(金) DACIA FIGUEIREDO FORTES 学校訪問(全日制) ⇔ 多米小学校

アレキサンドラ校長(3年目)

- 児童数 186人 (特別支援 16人)
- 教員数 19人
- 学級数 10学級
- IDEB 7.2



訪問日が子どもの日のイベントで、校長先生は忙しかつたので、事務担当の方にお話を聞きました。

#### 【事務担当の方の話】

校長先生は、子どもたちのために「エアコンをつけてほしい」「校舎を広くしてほしい」など教育局に積極的に要望してくれる。ここは貧しい地域だから、ビンゴやピザを売って、教育資金にあてている。校長先生に行動力があるので、とても働きやすい職場である。



ポケットクで楽しく会話をしました。

★子どもの日のイベントで、子どもたちはフェイスペイントをして、お菓子を食べたり、ゲームをしたりとても楽しそうでした。勉強で成績が良かった子には特別なプレゼントもあるそうです。

### ⑧ 10月11日(金) NEUSA PEREIRA BRAGA 学校訪問(二部制) ⇔ 飯村小学校

サンドラ校長(1年目)

- 児童数 587人 (特別支援 2人)
- 教員数 35人
- 学級数 11学級
- IDEB 7.2

#### 【校長先生の話】

親からの愛情を受けていない子が多い。毎授業の初めに先生が神様、友達、愛について話をする。うるさいときは私も厳しくしかる。午後勉強をしに来たり、テストの成績が良かったりした子には仮想のお金「ブラゲーツ」をあげる。ブラゲーツを集めるとおもちゃやアクセサリと交換することができる。アイデアのある



先生が多い学校なので、授業は先生たちの個性に任せている  
★子どもたちは、人の話を聞くときは物を置いて、話す人の方をきちんと見ることができていました。勉強にやる気をもたせるために、仮想のお金を使うのはおもしろいと思いました(豊橋にもそんな先生がいましたね)。「あめとムチ」で、子どもたちがしっかりしつけられているように感じました。

#### ええじゃないか ～ナッツコラム～

ナッツは、豊橋から「ええじゃないか」のグッズをお土産にもってきた。そして「年に一回くらい嫌なことは忘れて、わいわい踊っちゃおう！」みたいな意味の紹介もした。しかし、紹介しながら変な感じもしていた。だって、よっぽどブラジルのほうが、年がら年中ええじゃないかじゃないか! って…。

(ナッツの腕時計より)

